

第 3 章

人権研修のプログラム（例）

この章では、DVD・YouTube動画などの視聴覚教材や人権啓発冊子を使った研修プログラム（例）を紹介しています。

研修の対象や時間、会場などを考慮の上、効果の上がるプログラム作成に活用してください。

- 1 人権啓発 DVD を活用したプログラム
- 2 人権推進センター YouTube チャンネルを活用したプログラム
- 3 人権研修・啓発冊子を活用したプログラム

人権啓発映画『光射す空へ』を活用したプログラム (例)

テーマ

- 1 正しい知識と理解
- 2 多様性の受容と尊重

ねらい

- 1 「若年性認知症」「同和問題（部落差別）」「性的マイノリティ」について正しく知り、理解を深める。
- 2 多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きていける社会にするために何ができるか。

時間配分は、全体の予定時間に合わせて調整してください。

学習プログラム (90分) ワークシート(A)(B)を活用し、3つの人権課題全てを学習する。

学習の流れ	時間 (90分)	方 法	教 材
オリエンテーション	6分	1 講師の導入の言葉 2 4～6人のグループを作る。(余裕があれば自己紹介) 3 積極的に参加すること、他人の意見を傾聴し、尊重すること、学習の中で出た意見はこの場のみにすること(守秘)を確認する。	記録用紙 筆記具
映画本編上映	32分	「光射す空へ」本編を視聴する。	人権啓発映画 「光射す空へ」DVD
ワークシート(A) の記入	6分	各自、ワークシート(A)の質問に答える形で記入する。(※各解答は解説編上映時に確認)	ワークシート(A)
話し合い	18分	1 ワークシート(A)の質問を導入にして、3つの人権課題について話し合う。 2 「若年性認知症」「同和問題(部落差別)」「性的マイノリティ」それぞれの人権課題について映画を視聴した感想を語り合う。 3 今までの認識や理解を振り返り、視聴後にどう変わったかなどを語り合う。	ワークシート(A) ホワイトボード
映画解説編上映	15分	3つの人権課題についての解説編を視聴する。	人権啓発映画 「光射す空へ」DVD
ワークシート(B) の記入	8分	ワークシート(B)に各自記入する。	ワークシート(B)
講師によるまとめ	5分	学習ポイントを中心に解説し、まとめとする。	指導者用手引き

※個別の人権課題を学習する場合、オリエンテーション5分、ワークシート(A)記入4分、話し合い6分、解説上映5分、ワークシート(B)記入4分、まとめ4分とするなど、60分で学習することもできます。

学習プログラム(60分) ワークシート(B)のみを活用し、個別の人権課題を学習する。

学習の流れ	時間 (60分)	方 法	教 材
オリエンテーション	5分	1 講師の導入の言葉 2 4～6人のグループを作る。(余裕があれば自己紹介) 3 積極的に参加すること、他人の意見を傾聴し、尊重すること、学習の中で出た意見はこの場のみに行うこと(守秘)を確認する。	記録用紙 筆記具
映画本編上映	32分	「光射す空へ」本編を視聴する。	人権啓発映画 「光射す空へ」DVD
ワークシート(B)の記入	4分	ワークシート(B)のうち、学習する人権課題の質問に各自記入する。	ワークシート(B)
話し合い	10分	1 ワークシート(B)の質問を導入にして、学習する人権課題について話し合う。 2 「若年性認知症」「同和問題(部落差別)」「性的マイノリティ」のうち、学習する人権課題について映画を視聴しての感想を語り合う。 3 今までの認識や理解を振り返り、視聴後にどう変わったかなどを語り合う。	ワークシート(B) ホワイトボード
映画解説編上映	5分	選択した人権課題についての解説編を視聴する。	人権啓発映画 「光射す空へ」DVD
講師によるまとめ	4分	学習ポイントを中心に解説し、まとめとする。	指導者用引き

ワークシート①

Q. 次の口に入る答を考えてみてください。

■若年性認知症について

- ①若年性認知症とは、 歳未満で発症する認知症の総称である。
 ②発症年齢の平均はほぼ 歳未満である。

■同和問題について

- ①内閣府が平成24年に実施した人権擁護に関する世論調査では、「同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか？」という問いかけに37%を超える人が「 問題で周囲の反対を受けること」と答えている。
 ②同じ調査で %以上の人が「就職・職場で不利な扱いを受けること」と答えている。

■LGBTについて

- ①LGBTの
 Lとは 、Gとは 、
 Bとは 、Tとは の頭文字である。
 ②LGBTの人は人口の約 %くらい存在すると言われている。

ワークシート②

Q1. この映画に出てきた3つの人権課題について、もし、自分が下記の立場なら、何を考え、どうすると思いますか。

■もし、自分や身近な人が若年性認知症だと診断されたら

■もし、自分や身近な人が同和地区出身者だとしたら

■もし、自分や身近な人が性的マイノリティだとしたら

Q2. 映画を視聴し、気づいたこと、感じたこと、印象に残ったことなどを、自由に記述してください。

「同和地区」とは、同和問題（部落差別）の解決のための対策事業を行っていた地域のことを示しています。

人権啓発映画『秋桜の咲く日』を活用したプログラム(例)

テーマ 「違いを認め合い、活かすために」

ねらい

映画のテーマ『違いを理解し、受け入れる』について、映画のシーンを通して考える。そこから、多様性を活かした社会作りのために自分に何ができるのかを考える。

映画の学習のポイント

- ① 変わっている人は、困った人？
- ② 「人の気持ちがわかる」って？
- ③ もし「困った人」があなたの身近にいたら
- ④ 「普通」ってどういうこと？
- ⑤ 違いを認め合い、活かす社会へ

学習の流れ	時間 (90分)	方 法	教 材
オリエンテーション	8分	1 4～6人のグループを作る。自己紹介。 2 ねらいと学習の流れを確認し、司会・記録・発表の役割分担を行う。 3 積極的に参加すること、他人の意見を傾聴し、尊重すること、学習の中で出た意見はこの場のみにすること(守秘)を確認する。	記録用紙 筆記具
人権啓発映画上映	34分	映画を視聴する。	人権啓発映画 「秋桜の咲く日」DVD
ワークシートの記入	8分	各自で記入する。	ワークシート①
話し合い	15分	記入したワークシートを参考に話し合う。 1 ちひろの考え方はどう変わりましたか。また、それはなぜだと思いますか。 2 あなたの学校や職場に直也や乾のような人が入って来たら、どのように行動しますか？ 3 映画を見ての感想や映画内容についての気づきを意見交換する。また、日常生活での自分を振り返り、体験を語り合う。	ワークシート① 1 質問1・2 2 質問3 3 質問4 ※ワークシート②も利用可能
グループ発表	20分	グループ発表。それぞれ5分程度で発表する。講師はキーワードをホワイトボードに書き込んでいく。	ホワイトボード
講師からまとめ	5分	・「違い」には「目に見える違い」と、「目に見えにくい違い」があること。 ・自分が『普通』『常識』と思っていることも、すべての人に共通するわけではないこと。 ・「目に見えにくい違い」は周囲からはわかりにくいので、理解やサポートが得られず、誤解や偏見から差別につながることもあること。 ・「違い」を理解し、配慮することで、多様性のある社会を実現することができること。 これらを確認し、まとめとする。	指導者用引き

ワークシート①

～違いを認め合い、活かすために～

- 1 物語の前半と後半で、直也に対するちひろの考え方が変わりました。どのように変わったと思いますか？

前半

前半



- 2 ちひろの考え方が変わったのはなぜだと思いますか？

- 3 あなたの学校や職場に直也や乾のような人が入ってきたら、どのように行動しますか？

- 4 映画を見て感じたこと、気づいたことを自由に記述してください。

ワークシート②

～違いを認め合い、活かすために～

質問

この作品の内容に関する以下の事柄について、「そう思う」場合は「○」、「そう思わない」場合は「×」、わからない場合は「△」をつけて、自分の思いを確認してみましょう。

- () ちひろが直也にいら立つ気持ちがわかる
- () 自分も直也のようなところがある
- () 地域や職場で、乾のような孤立感を感じたことがある
- () 直也の母親や父親の気持ちがわかる
- () 「常識的には」「普通は」という言葉が気になる
- () 気難しい人には近づかないようにしている
- () 職場に直也や乾のようなタイプの人がいたら困る
- () 自分は周りの人と十分にコミュニケーションを取れている
- () 障害のある人と、どう接していいか分からない
- () 自分が他の人と「違う」ところをいくつか挙げられる

映画を見て感じたこと、気づいたことを自由に記述してください。

CD教材・YouTube 動画『明日への伝言板』を使っのプログラム (例)

テーマ 世の中にはいろいろな人権問題があることを知る

ねらい

毎年11月から翌年2月まで放送されているラジオ番組「明日への伝言板」のCD・人権推進センターYouTube動画を視聴して、世の中には、私たちが気づかないところにもさまざまな人権問題があることを知り、その解消に努める心を養う。

進め方	時間	方法	教材・資料	備考
1 主催者のあいさつ (研修の趣旨など)	2分	あいさつ		
2 研修のテーマ・ねらいを説明する (上記研修の趣旨を参照して)	3分	オリエンテーション (研修の方向づけ)	『明日への伝言板』 のCD教材又は人 権推進センター YouTubeチャン ネルから2～3話	ポイント をメモす る。
3 あらかじめ選んでおいた2～3話 をCD又はYouTube動画で流す	15分	CD又はYouTube チャンネル動画を 視聴する。		
4 聞いた内容について意見や感想を 出し、話し合う	23分	参加者が多い場合に は7～8人のグルー プに分けて聴く。		
5 意見・感想をまとめて、発表する	10分	参加者の中から2 ～3人でもよい。		
6 まとめの話をする	5分	講師又は指導者		
7 おわりのあいさつ	2分	あいさつ		

*『明日への伝言板』CD教材とシナリオ集

「明日への伝言板」は、子どもたちの詩や作文、日常生活のさまざまな話題を2人のナレーターが紹介して、人権の大切さをみんなで一緒に考えていく番組です。放送済み音源を収録したCD教材とシナリオ集も制作しています。研修時間があまりとれないときは、CDを流すだけでも有効に活用できます。シナリオの内容をイラスト化した紙芝居DVDも制作しています。



*北九州市人権推進センターYouTubeチャンネル

「明日への伝言板」の放送済み音源や紙芝居動画、これまで制作した人権啓発動画や人権啓発CMを配信しています。

<https://www.youtube.com/channel/UClk9eHw34lylw4CFzlQybgg>

*「明日への伝言板」ホームページ

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/asu-dengonban/>

『私たちと同和問題』を使っのプログラム(例)

学習の
ポイント

- 1 同和問題（部落差別）に対する正しい知識を持ち、物事を合理的に判断する精神を身につけること。
- 2 知識を身につける学習に偏ることなく、「共感を得る、人権を自分自身のこととして考える」工夫が重要。

進め方	時間	方法	教材・資料	備考
1 主催者のあいさつ (研修の趣旨など)	2分	あいさつ		※『私たちと同和問題』の講義の前に同和問題についてのアンケート結果(同冊子P63～72を参照)を見て自分の意識を確かめてもよい。 ※同和問題(部落差別)をとりあげた映画(DVD)を併用してもよい(人権ライブラリーから貸出)
2 研修のテーマ・ねらいを説明する (上記研修の趣旨を参照して)	3分	オリエンテーション (研修の方向づけ)		
3 同和問題について話を聞く ・同和問題とはどんな問題か。 ・同和問題はどんな経過をたどってきたのか。 ・いま同和問題はどうなっているのか。 ・同和問題解決に向けて何が必要か。	60分 ～ 80分	講話	『私たちと同和問題』 『人権問題に関する市民意識調査一 報告書』	
4 講義に対する質疑・意見	23分 ～ 33分	質疑と意見 交換		
5 おわりのあいさつ	2分	あいさつ		

『私たちと同和問題』

1987(昭和62)年初版発行。2022(令和4)年改訂第7版発行。第1章：同和問題（部落差別）とは、第2章：部落差別の歴史と同和問題（部落差別）解決への歩み、第3章：同和問題（部落差別）の解決に向けて～人権文化のまちづくり～、第4章：世界の潮流と日本国内における主な人権課題、からなっています。巻末に参考資料として、年表・法令・市民意識調査等が添えられています。

人権協事務局（人権推進センター人権文化推進課）で、人権協会価格1冊120円、一般価格150円で販売しています。



人権研修入門資料『モモマルくんと考えよう』を使ってのプログラム（例）

学習の
ポイント

自分の周囲にある差別に気づき、自分自身のこととして考え、正しい知識を得て行動できる心を養う。

進め方	時間	方法	教材・資料	備考
1 主催者のあいさつ (研修の趣旨など)	2分	あいさつ		人権推進センターYouTubeチャンネル配信動画と併用してもよい
2 研修のテーマ・ねらいを説明する (上記研修の趣旨を参照して)	3分	オリエンテーション (研修の方向づけ)		
3 冊子1～18ページを読んで次の点について意見・感想を話し合う（進行役は巻末の解説を見ないようにアナウンスする） ・ どの場面が差別にあたるのか。 ・ なぜ差別と思うのか。 ・ 自分がその場に居合わせたらどのように対応すべきか	30分	読む・話し合う 進行役は、ホワイトボードに出された意見を記録する	『モモマルくんと考えよう！』～差別における7つの立場って？～	
4 解説（P19～20）を参照しながらまとめを行う	10分	まとめ		
5 おわりのあいさつ	2分	あいさつ		

モモマルくんと考えよう！（第1巻～第8巻）

「モモマルくんと考えよう！」は「地域や職場での人権研修入門用」として制作した冊子で、これまで8巻発行し、幅広い年齢層に活用していただいています。

第1巻は「差別における7つの立場」、第2～第3巻は「同和問題（部落差別）」、第4～第6巻は「LGBT（性的マイノリティ）」、第7巻は「ヤングケアラー」、第8巻は「インターネットやSNSにおける書き込み」をテーマに制作しており、各巻巻末に解説ページを付けています。

人権協事務局（人権文化推進課）で無料配布しています。（送料は、自己負担）

